

監査品質の指標(AQI)の概要

2023年度におけるEY新日本の監査品質への各取組みの成果として、以下の監査品質の指標(AQI: Audit Quality Indicator)をご紹介します。

以下の指標は、記載のない限り2023年度または2023年6月30日現在の数値です。

監査品質を重視する体制と専門性

▶ 監査品質を重視した経営方針

【組織風土改革に関する意識調査】 p.28

① 日ごろから監査品質を重視して業務を行っている

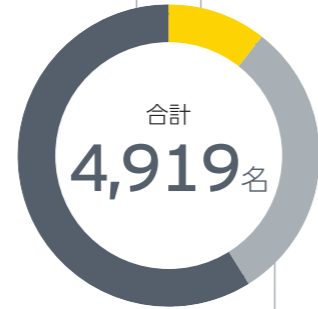


② 法人トップマネジメントからのコミュニケーションには、つねに監査品質が最優先事項であるというメッセージが込められていると感じている



▶ プロフェッショナル(クライアントサービス職)の人数及び構成割合 p.36

職員(非管理職) 2,891名 58.8%
社員 533名 10.8%



職員(管理職) 1,495名 30.4%

※ コアビジネスサービス職(スタッフ部門)を含めた人員構成は、法人概要(p.91)に記載しています。

▶ 品質管理業務の従事者 p.22

品質管理本部

173名
(2023年7月1日現在)

▶ 専門部署による支援

監査関連の問合せ p.40

1,279件

会計関連の問合せ p.40

879件

本部審査案件数 p.47

711件

品質管理システムならびにモニタリング及び改善プロセス

▶ コンプライアンスのモニタリング

コンプライアンス確約書 p.31

100%(提出率)

コンプライアンス研修

100%(受講率)

▶ 独立性に関するモニタリング p.34

年次独立性確認書

100%(提出率)

独立性研修

100%(受講率)

▶ 独立性違反件数 p.34

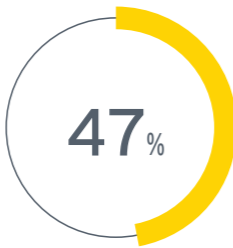
2件

▶ 監査事務所における内部検証 p.64

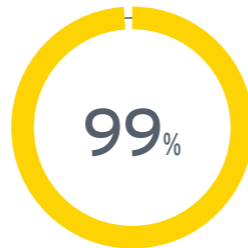
定期的なモニタリングの結果
対象監査業務数

107業務

社員カバー率



重要な発見事項がない監査業務の割合



▶ 外部機関による検査等 p.65

直近の日本公認会計士協会のレビューの結果 重要な不備事項のない実施結果

日本公認会計士協会のレビューの結果に基づく措置

なし

▶ 監督官庁による処分 p.65

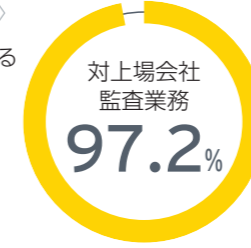
直近2事業年度において金融庁から受けた処分

なし

デジタルの活用と業務改革

▶ データ分析の高度化 p.49

EY Helixの中核分析ツールである
General Ledger Analyzerを
利用している監査業務の割合



▶ 担い手の変革 p.51

GDS・DSC利用社数

1,919社

データ加工集約社数

2,308社

▶ テクノロジーへの投資 p.17

次世代監査・保証統合プラットフォーム

EY新日本の年間IT費用額

約1,400億円

87億円

※ グローバルの投資予定額(2022年から4年間)

▶ 支援体制 p.50

アシュアランスイノベーション本部の人数

800名

(2023年7月1日現在)

人材の育成と改革

▶ 研修時間 p.57

平均研修受講時間数

66時間

(うち、継続的専門研修制度(CPE)にかかわる時間数62時間)

▶ 履修した研修に関するアンケート調査結果 p.57

講師満足度

4.2点

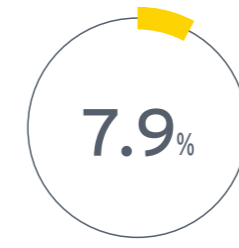
※ 5.0点満点の平均

行動変容

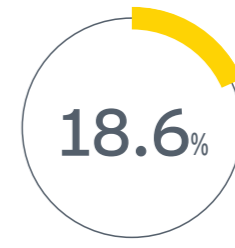
4.1点

▶ DE&I p.62

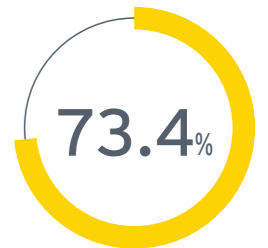
女性パートナー比率



クライアントサービス職
(ライン部門)
女性管理職比率



男性育休取得率



▶ 監査従事者の年間平均執務時間 p.61

2,003時間

▶ グローバル人材 p.59

2,565名

※ TOEIC730点以上、IFRS認定保有者等

▶ 人材交流(国内出向) p.58

メンバーファーム外出向者数

37名

メンバーファーム内出向者数

15名

(2023年7月1日現在)